

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学会 諸費用補助成果報告書 (Web 公開用)

申請者 (ふりがな)	黒田琳 (くらだりん)
所属・資格 (※学生は課程・学年を記載。卒業生・修了生は卒業・修了年月も記載)	人間科学研究科 修士課程 2年
発表年月 または事業開催年月	2026年 2月
発表学会・大会 または事業名・開催場所	第16回 多感覚研究会
発表者 (※学会発表の場合のみ記載、共同発表者の氏名も記載すること)	黒田琳、百瀬桂子
発表題目 (※学会発表の場合のみ記載)	視覚的顕著性と認知バイアスが意思決定に与える影響の解明
発表の概要と成果 (抄録を公開している URL がある場合、「概要・成果」を記載した上で、URL を末尾に記してください。また、抄録 PDF は別途ご提出ください。なお、抄録 PDF は Web 上には公開されません。)	
<p>視覚的顕著性と意味的文字情報が意思決定過程に及ぼす影響を、対象への滞在時間、first fixation および Attentional Drift diffusion model を用いて検討した。AI で生成した日用品画像と商品の購買欲を刺激するバイアスの文字情報を組み合わせた画像 (顕著性あり/なし×文字情報あり/なし) を用い、二肢強制選択課題を行った。結果、文字情報がない場合は顕著性の高い画像の選択率が有意に高くなった。文字情報がある場合は、顕著性に関わらず意味情報が選択を規定し、選択率が高くなり、情報処理負荷に起因する反応時間も有意に長くなった。また、文字情報が判断の一貫性を変化させ、注視依存性を変容させるといった情報処理構造を動的に変化させることが判明した。</p>	

※無断転載禁止